

雨水出水浸水想定区域図に関するQ&A

	Q：質問	A：回答
1	なぜ雨水出水浸水想定区域図が必要なのですか？	令和3年の水防法改正により、大雨が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まい、職場、学校などの周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、速やかに避難できるよう活用するために作成・公表しています。
2	想定最大規模降雨とはなんですか？	本市では、埼玉県の洪水浸水想定区域検討等において内水域の湛水量が最も大きいとされる昭和33年9月型の降雨波形をもとに、地域ごとの最大降雨量となるように引き伸ばして作成したもので、1時間の最大降雨量は153mmになります。これは1000年に1回（0.1%）発生する確率の雨量です。
3	時間153mmの雨はどれくらいの強さの雨ですか？	近年、影響の大きかった平成27年9月の台風第18号及び令和5年6月の台風第2号の降雨量は、時間最大雨量が53mmであったため、約2.8倍の強さの雨になります。
4	雨水出水浸水想定区域図の地形データはどのように設定していますか？	国土地理院が公表している最新の数値標高モデルの5mメッシュデータ（令和4年時点）を使用し、地表面のモデルデータを作成しています。
5	過去に浸水した履歴のない場所が浸水する想定になっていますが、誤りではありませんか？	想定最大規模降雨は、今まで経験した降雨を上回る降雨であるため、過去に浸水履歴がない場所でも浸水する可能性があります。
6	過去の大雨で浸水した箇所が図面上で着色されていないのですが、間違っていないですか？	落葉や土砂による排水施設の詰まりなどの環境的要因をシミュレーション上で考慮できないため、過去の実績と異なる場合があります。また、排水施設の整備が進んだ場合や、土地開発による造成などにより地形が変化した場合は、現在の想定される浸水範囲及び浸水深が異なる場合があります。
7	川からの越水は考慮していますか？	内水（下水道施設や既存の水路では処理できずに溢れた水）を対象とした浸水図となりますので、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫は考慮しておりません。
8	市外の浸水状況は考慮していますか？	市内の下水道施設や既存の水路では処理できずに溢れた水を反映しているため、市外の浸水状況（浸水の移動等）は考慮していません。また、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
9	浸水深が記載されていますが、どのくらいの深さの浸水が予想されるのですか？	<p>浸水深の目安は次のとおりです。</p> <p>0.5m：1階床高に相当する浸水深</p> <p>3.0m：2階床下に相当する浸水深</p> <p>視覚的なイメージにつきましては、下記を参考にご確認ください。 （越谷市総合防災ガイドブックより抜粋）</p> 
10	浸水の着色が見づらいのですが、変えることはできませんか？	内水浸水想定区域作成マニュアル（案）に基づき、配色については、ISO等の基準や色覚障がいのある人への配慮、他の防災情報の危険度表示との整合背も含めて検討された標準のものを使用しています。